

# イルミネーションフェスタ2017 ロビーコンサート

日時：2017年12月10日 18時開始  
会場：吉見町民会館（フレサよしみ）

## プログラム

愛のロマンス

11月のある日

聖母の御子

クリスマスの歌

アベマリア

スペインの城

## 伊藤 豊(Gt)、自己紹介

中学2年より独学でクラシックギターを始める。  
就職・結婚後、昭和の終わりと共にギターを離れる。  
2012年、吹上ギタークラブ風音(カノン、埼玉県鴻巣市)に加入し、ギターを再開。  
2014年より富川勝智氏に師事。  
コンクール挑戦中！

感想をお寄せください。

<http://www.ne.jp/asahi/haiku-salon/rutsubo/index.html>



## 演奏曲紹介

愛のロマンス/アントニオ・ルビーラ(1825-1890、スペイン)

スペイン・ムルシア県ロルカ町出身のギター奏者ルビーラが作曲した練習曲。  
スペインのビセンテ・ゴメスが「愛のロマンス」と題して、1940年に出版。  
映画「禁じられた遊び」(1952)のテーマとしてナルシソ・イエペスが演奏して広まった。

11月のある日/レオ・ブローウェル(1939-、キューバ)

キューバのドキュメンタリー映画のために書き下ろした作品。主人公は脳の病気になり、自分の人生を見つめ直すという内容。自分は革命に命を捧げている、でも残された人生、それだけでいいのだろうかと自分に問い直す・・・  
愁いを帯びたメロディーは聴くものそれぞれの原風景にダイレクトにアダプトする名曲。

聖母の御子/カタロニア民謡(スペイン)、荘村清志 編曲

『聖母の御子 El Noi de la Mare』(せいぼのみこ)は、スペイン・カタルーニャ(カタロニア)地方に伝わる古い民謡。リョベートによるクラシックギター編曲が有名。「聖母」とは「聖母マリア」、その「御子(みこ)」とはイエス・キリストを指している。讃美歌として歌われるほか、キリストの誕生を祝うクリスマスシーズンにクリスマスキャロルとしても歌われる。

クリスマスの歌/ オーグスチン・バリオス(1855-1944、パラグアイ)

A.バリオスはパラグアイの作曲家でギタリスト。

ギターの響きを活かした美しい小品。聖母の御子とともに、クリスマスにちなんだレパートリーとして多くのギタリストによって愛奏されている。原題の「ビリャンシーコ」は現在ではクリスマス・キャロルを指すスペイン語。

カッチーニのアベマリア/ウラディーミル・ヴァヴィロフ(1925-73、ロシア)、

河野智美 編曲

1990年代突然現れた名曲、ジュリオ・カッチーニ(1551-1618、イタリア)の作として広まった。ヴァヴィロフは自作を古典作曲家の名前を借りて発表する事がよくあった。偽作とされるが美しさに変わりはない。

スペインの城よりアルカセル・デ・セゴビア、モンテマヨール/フェデリコ・モレーノ・トロバ(1891-1982、スペイン)

トロバの「スペインの城」は14曲の小品による組曲。スペインの土地とその地に息づく空気までも精妙に写し取った作品である。アルカセル・デ・セゴビアとモンテマヨールはNHK名曲アルバムに取り上げられている。それぞれ招集、松のロマンスと副題がつけられている。